

- 発行：ライフ・ホープ・ネットワーク ●事務局：〒454-0023 名古屋市中川区石場町2-23-2 ●TEL：052-363-3393
- Email: support@lifehopenet.com ●Website: <http://www.lifehopenet.com/>
- 郵便振替：00850-5-131374「ライフ・ホープ・ネットワーク」 ●カフェモナミ：〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-29-13

この困難な年にも支え続けてくださった皆様にご感謝します！2020年は世界中で多くの活動が停滞してしまった年でしたが、日本では、妊娠中の女性を支える色々なグループの活動が始まったり拡大したりしました。女性たちの安全な出産と産後の歩みを助けるための多くの努力がなされていることに、私たちも感謝しています。

そのような状況下で、今後私たちはどのような役割を果たしていくべきかを考えさせられました。確信しているのは、私たちは女性たち、特にホームステイに来る女性たちの人生に、一時的ではなく本当に意味のある変化をもたらす機会を持ち続けたいと願っていることです。そこで今回は過去にホームステイをした女性4人に質問し、LHNがどのように人生に影響を与えたか、そして将来に不安を抱える妊婦さんたちに何を伝えたいかを書いてもらいました。2ページ目と3ページ目に掲載しています。4人それぞれのストーリーをお楽しみください。私たちにとって皆大切な存在です。

主に栄光がありますように。

代表 シンシア・ルブル

2020年度（1-12月）活動報告

<相談実績(新規相談者数)> Phone/email clients

期間	1-6月	7-12月	年間	
妊娠 Pregnant	54	47	101	相談中に出産を決心：10名
中絶後 Post-abortion	110	127	237	ステップ学習開始：48名 ステップ学習終了：7名
その他 Other	2	5	7	
合計(人)	166	179	345	

<ホームステイ実績> Homestays

期間	1-6月	7-12月	年間
特別養子縁組 Adoption	2	0	2
シングルマザー Single mother	2	1	3
その他 Other	0	0	0
合計(人)	4	1	5

世界中が感染症対策に翻弄された2020年は、LHN相談者の間でも大きな変化が見られました。45号ニュースレターでも触れた通り、緊急事態宣言発令前後から中絶後相談の件数が非常に多くなりました。何年も前の中絶経験についての相談も一定数以上あり、相談件数の増加が直接的に中絶件数の増加を意味するわけではありませんが、コロナ禍での失業や経済不安により中絶を選択したという相談も多数寄せられました。

逆に妊娠相談の件数は例年より少なく、ホームステイ受け入れ件数も少ない一年でした。このこととコロナウイルスの拡大との間の因果関係は今の時点では判断することができません。東京や大阪でも、行く場所のない妊娠中の女性を受け入れる施設がオープンしており、愛知県外からLHNへの入所が必要になるケースが減っていることも考えられます。助けを必要としている女性の受け皿が広がっていることに感謝いたします。

このニュースレターを制作している2021年2月現在は、2名のホームステイに恵まれています。女性と赤ちゃんの将来のために引き続きお祈りいただければ幸いです。

◆Aさんより

私がライフホープネットワークのホームステイを知るきっかけとなったのは、妊娠が分かって最初にかかった産婦人科医からの情報提供でした。私自身妊娠はとても嬉しかったのですが妊娠した状況が少しごたついていたので、産むことへの周囲からの否定的な意見に負けそうになっていたときのことでした。

産婦人科を出た玄関前で、医師から教えられた電話番号にすぐ電話をすると、少し片言の外国人女性の声だったので、「本当に大丈夫かな?」と思ってしまいました。しかし、そんな不安はふっ飛びました。日本語はほとんど通じるし、ぜひ会いましょうとシンシアさんから言ってくれて、なんとその30分後に最寄りの総合駅まで迎えに来てくれたのです。そこで自分の状況をシンシアさんに伝え、実際にホームステイ先の自宅を自分の目でみることができ、どんな場所でホームステイをするのかある程度想像をつけることが出来ました。リビングにはいっぱい写真も飾ってあり、そこで息子のマイカくんの写真も見ることができて、とても温かい家庭的な場所だなあと、ホッとくつろげたのを覚えています。

行政の方とも話し合いをして、ホームステイの日時を改めて決め、それに向けて自分も準備をしてホームステイを開始しました。妊娠をすると、いろいろ準備をしないといけないのに思うように動けなかったり、新しく働くこともなかなか難しく、やらなければいけない物事が進まないのに刻一刻と週数は経っていく...という、焦りを抱く状況にある人も少なからずいると思います。シンシアさんは、多くの妊婦さんと関わって助けて来た経験から、相談に対して親身になっていろいろなアドバイスや前向きな言葉をくれて、穏やかな気持ちで過ごすことが出来ました。私は、シンシアさんの「Good!いいね!」「いいんじゃない?」という口ぐせが大好きです。味方になっ

てくれるような声かけがとても嬉しく、励まされ、その前向きな言葉に何度救われたことでしょう。かといって何でもオッケーと甘やかされる訳でも過干渉する訳でもなく、私を一個人として尊重してくれて、そして良い意味での適当さもあって、その付かず離れずの家庭的な部分が、シンシアさんとのホームステイの魅力だと感じています。もちろん、シンシアさんの美味しい手料理が毎晩楽しめるのも大きな魅力のひとつです。たぶん、ホームステイをしなかったら誰とも口を利かずに、スマホばかりをして塞ぎこんで過ごしていたであろう妊娠中、ホームステイをすることによって自分の今後の人生を大きく立て直すチャンスが出来たと思っています。たぶんホームステイしていなかったら、今でもやさぐれて荒れた生活になっていたでしょう。

出産してから一年ほど経ちますが、今でもシンシアさんとは定期的にやりとりをしていて、家族ぐるみでのお付き合いがあります。ホームステイの時にお腹にいた子供はもうすぐ1才。今ではシンシアさんの抱っこが大好きなようです。優しいマイカくんにも懐いています。わたしにとってシンシアさんは、子育ての先輩、ママ友、お姉さん、お母さんのような存在です。妊娠中に支えてもらって産んですぐお見舞いに来てくれたから、夫みたいな存在でもあるかもしれませんが、それほど頼れる存在だということです。少しでも多くの、困難に置かれてる妊婦さんたちに、こんな温かい場所が選択肢としてあることを知ってほしいし、わたしの体験談が参考になって前向きな妊娠出産ができる方が増えるといいなと思って、今回執筆させていただきました。



◆Bさんより

LHNでホームステイを始めた時、シンシアは私の安全と健康の2点を何よりも気にかけてくれました。フリーダイヤルに電話した日から今日までずっと支えてくれています。家や仕事など私が新しい人生を始めるためのあらゆることを助けてくれました。また、妊娠から出産までの間の必要もすべて助けてくれました。妊娠中の私は落ち込んでいましたが、シンシアは諦めずに聖書の言葉をシェアし、前進すること、新しい人生を始めることを励まし続けてくれました。そして出産後も大きな助けとなってくれました。シンシアの励ましで、

より善い人間になりたいという希望を持つようになりました。

LHNの助けにより、娘とまったく新しい人生を始められました。同じようにシングルマザーを選んだホームステイとも友人になり、LHNは私たちにとって安全な避難場所であり家となりました。この家と周囲の人たちからたくさんのことを学びました。自分自身の行動に責任を持つことも教えられました。毎晩の振り返りの時間には、一日一日感謝すべきことがあることを思い出しました。神様は、LHNを通して私を暗闇から救い出してくれました。

時に私たちは、ただそばにいられる誰かが必要です。何かを解決したり、特に何かをしたりするわけではなく、ただ誰かが自分のことを気にかけて味方になってくれていると感じることが必要です。言葉では言い表せないほどに、LHNに感謝しています!



◆Cさんより

妊娠がわかった時にパートナーとの言い合いが絶えず関係修復不可能な状態までできていました。当時、海外に住んでいた事と、親にも頼れない事情もあり、今後どうしたら良いか不安もあり、当初は誰にも相談ができませんでした。

親しい友人にやっと相談できましたが、産むことは私のエゴだとはっきり言われ、中絶を勧められ心身的にも辛い状態でしたが、産む決断をしてからインターネットでLHNを探し、連絡をしました。

返信が来た時に全く一言も責められる事も一切なく、逆に励ましや優しい言葉をかけてもらえ、行き場所のない私に住む場所を提供してくれました。赤の他人が何も知らない私の事を気にかけてくれる嬉しかった事を今でも鮮明に覚えています。

LHNと連絡を取る前までは、正直、未婚のお金のない女性がシングルマザーになろうとしている事は常識外れで、産まれてきた子供が哀れなだけで少なからず親しい友人からも思われ、私の

やっている事は100パーセント間違っているのか自問自答していました。将来裕福になれないのはわかかっていても胎児墮す決断だけはどうしてもできませんでした。なので、LHNとの出会いは私の人生の分岐点だと確信しています。本帰国するまでに定期的にLHNより連絡をもらい、ホームステイが始まってからは毎日がとても楽しかったです。同じ状況下で仲の良い友人もできました。

あれから4年が経過し、嬉しい事、辛い事色々経験し、現在は仕事を心得て自立した生活をお子と日々過ごしています。決して裕福ではありませんが、毎日が幸せで、子供を産んだ事に後悔はしていません。日々子供から私も成長させてもらっています。辛い事があっても子供がいるから頑張れます。うれしい事があると子供がいるので嬉しさが倍増します。不器用な母ですが、子供の母親になれた事に日々感謝をしています。

そして、この生活を維持できているのも根底にあるのはLHNのおかげです。彼らのおかげで、今現在も交流を保て、彼らの周りのコミュニティのおかげで私たちは孤立することもなく、日々精神的にも安定した生活ができていますと確信しています。私達の今があるのはLHNのおかげなので本当に感謝しています。



◆Dさんより

同棲していた相手の子どもを妊娠しましたが、相手には結婚の意思がなかったため、精神的にとても苦しい妊娠生活を送っていました。ひとりで産んで

育てられるのか、中絶を選択するべきなのか、とても悩んでいるなか、インターネットでLHNを見つけて、相談するようになりました。LHNでホームステイを始めた時点では、養子に出すか、シングルマザーとして育てるか、なにも決断できておらず、精神的にも不安定な状態でした。そんななか、シンシアをはじめLHNに関わる方々に親身になって接してもらい、本当に救われました。

LHNでの経験のおかげで、私は、自分の置かれた環境のなかで、最善をつくそうという覚悟ができました。ひとりだけで孤独に出産していたら、その後、赤ちゃんを抱えてどのように生きていけばい

いか途方に迷っていたらと思います。

実は、ライフホープでホームステイしていた期間は、そんなに長くはありません。現在は、新幹線でしか行き来できない距離なので、シンシアやその他お世話になった方々にもずっと会っていません。それでも、ホームステイした経験は、私を人間として大きく成長させてくれ、その後の人生に対する私の心構えが大きく変わりました。

現在、シングルマザー歴7年になりました。今でも乳児遺棄のニュースを耳にするたび、自分が妊娠していた頃を思い出して、本当に心が痛みます。自分で育てられないのであれば、養子に出すというのも責任ある選択だと思えます。

予想していない妊娠をするのは、女性にとってとても辛い経験ですが、LHNは、どんな状況にある女性にも寄り添って手を差し伸べてくれます。困っている女性がいたら、ぜひその手をつかんでほしいと思います。

今回は、後に続く女性たちの助けになって欲しいというLHNからの依頼に応じて、4人の「卒業生」に寄稿いただきました。原則としていただいた文章をそのまま掲載させていただいています。個人的な経験を勇気を持って書いていただいたことに、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

2020年度会計報告

単位：円 JPY

項目	2020年実績	備考	
前期繰越(A) Opening balance	1,012,203		
収入 Income	米国寄付金 Donation from USA	1,693,381	
	教会献金 Donation from church	423,778	
	個人献金 Donation from individuals	719,500	
	受取利息 Interest	9	
	雑収入 Other income	504,000	新型コロナ対策 家賃給付金
	LHN収入小計 Income subtotal	3,340,668	
	事業収入 Café profit	1,319,623	新型コロナ対策 給付金(カフェ)等
	LHN収入合計(B) Income total	4,660,291	
支出 Expenditure	人件費 Café wages (homestay)	50,400	ホームステイのカフェモナミでの人件費
	通信費 Communication	152,027	
	光熱水料費 Utility	60,000	電気・ガス・水道
	家賃・駐車場 Rent/parking	720,000	
	社宅費 Rent for employee	246,000	
	広告宣伝費 Promotion	37,290	ウェブサイト管理費等
	図書費 Books	5,780	
	管理諸費 Administration	307,465	税理士報酬・振込料
	法人税等 Tax	10,963	
LHN経費合計(C) Expenditure total	1,589,925		
現預金残高(A+B-C) Closing balance	4,082,569		

◆終わりに・・・

この特異な一年を無事終えることができたことに、スタッフ一同感謝しています。LHNが運営するカフェも一時休業を余儀なくされましたが、地域とつながる場としての役割を続けることができました。クリスマスには、例年より規模を縮小しながら、教会としてクリスマスの礼拝とお祝いをすることができました。

2021年も引き続き不安の多い世界ですが、このような時代にこそ、小さな命を大切にするための働きが必要とされていると感じます。その働きを続けさせてくださる神様と共に今年も歩んでいきたいと思ひます。

大きな変化のある世界の中で、変わらず支援を続けてくださるお一人お一人に心から感謝申し上げます。皆様の上に主の祝福が豊かにありますように。

